



ロカちゃん



まち×学生

# お年寄りにやさしい街 六角橋 オレンジプロジェクト

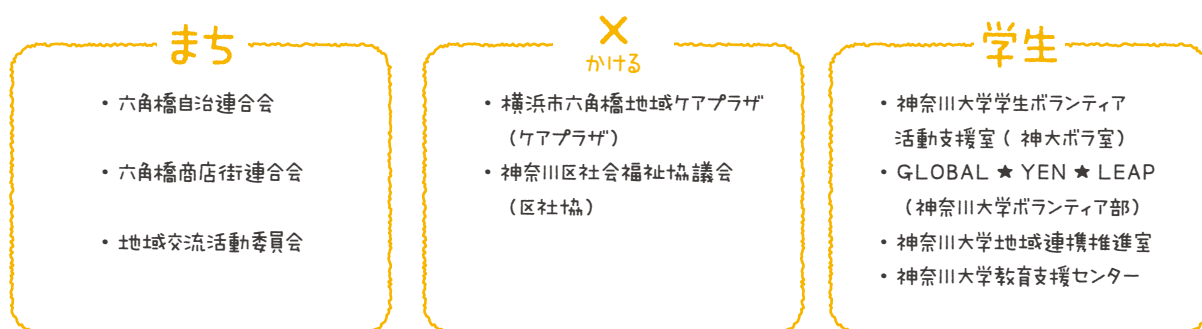
事業報告書



# 卒業しても住み続けたいまちに。

神奈川区六角橋では、六角橋自治連合会・商店街連合会と、神奈川大学横浜キャンパスの学生など若い力が結びつき、「卒業後も住み続けたいまちを共に創っていこう」との期待を込めてまちづくり活動を重ねています。その核となるのは「まち×学生プロジェクト」通称「まちかけ」。平成27年の発足以来、さまざまな人が行き交うまちづくりのプラットフォームとして活躍しています。

## まち×学生プロジェクト(まちかけ)とは?



### きっかけ

市域ではなく、わが大学のある地元で活動したいと考えた神大ボラ室学生有志が、横浜市社協ボランティアセンター(ボラセン)を訪ね相談。ボラセンはケアプラザを紹介しました。

### 土場づくり

ケアプラザが、学生と六角橋連合自治会をつなげて「まちかけ」がスタート。商店街連合会も加わり、まずは季節の祭礼など伝統的な行事でお互いが交流する場ができました。

### ひろがり

商店街連合会の店主たちの「認知症のお客さんにも優しい店でありたい」という思いが「まちかけ」を通じて、認知症に理解ある街を目指す「オレンジプロジェクト」に発展しました。

## ひろがる「まちかけ」の活動

### 第3回「神大マルシェ」

学生が地元企業に出店交渉してキャンパス内にマルシェ(市場)を開設。まちの人も学生もお互いをより身近に感じてもらうための交流・地産地消イベント。「大学の印象が変わった」との声も。



### 第4回「六神祭」

元祖まちかけ企画である六神祭では、六角橋にちなんだ「まち×学生かるた」などの共同制作や、まちと大学サークルの活動発表を通じて、子どもから高齢者まで多世代が交流している。



### 第2回～地域をつなぐ～キャンドルナイト

「キャンドルナイトでまた会おうね!」を地域の中の【合言葉】に、毎年最後に行われるキャンドルナイト。20団体3300個の住宅を模したキャンドルホルダーに光が灯されるとその日にしか見ることのできない“まち”が出現します。





# オレンジプロジェクトについて

## ●オレンジプロジェクトとは？

「お年寄りに優しいまちづくり」を目指して、2016年からGLOBAL ☆ YEN ☆ LEAP や六角橋商店街連合会などが中心となって実施している認知症啓発プロジェクト。地元自治会、地元企業、学生・大学、ケアプラザなど多様な主体が参画し地域の課題解決に取り組んでいる。

## ●オレンジプロジェクトのコンセプト

- 大学生など若い世代にも「認知症」について知って欲しい。
- 地域全体として「お年寄りにやさしい街」を創る、または創るきっかけを提案する。
- 最終的には「認知症サポーター」などが無くとも誰もが当たり前知識や対応を知っている世の中を作る。

## ●活動のヒント

### ①【リンクワーカープログラム】スコットランド（エジンバラ市）

認知症と診断された本人やご家族が社会とのつながりを保てるよう、勉強会や交流会、啓発運動を行っている。その中の1つ、エジンバラ市ではパブや飲食店で認知症啓発コースターを使用する活動が行われている。

### ②【ピンクリボンイルミネーション】

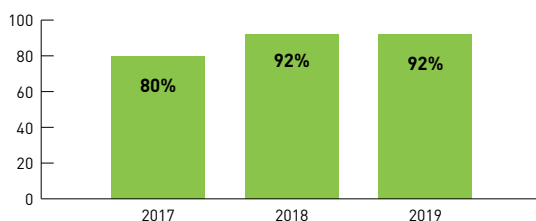
10月1日は「乳がんの啓発活動」の一環として東京タワーや東京スカイツリー等が1日限定でピンク色にライトアップされる。普段と違うという所から、「なんでいつもと色が違うの？」または、特別感を演出する事で関心をもってもらう啓発活動。



回を重ねるごとに企画への共感度、「オレンジリング」「認知症サポーター」の認知度が向上

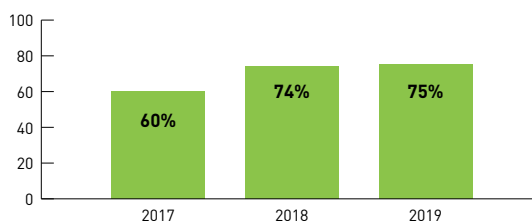
Q. 今回の企画内容はいかがでしたか？

「とても良かった」「良かった」の割合



Q. 「オレンジリング」と「認知症サポーター」を知っていますか？

「はい」の割合





## オレンジプロジェクトのあゆみ

# 2016

### 六角橋商店街をオレンジ色に染めよう！ オレンジプロジェクトがスタート！

[期間] 9月21日《1日》

[内容]

地域のシンボルであり、神大生の通学路でもある「六角橋商店街」を認知症のシンボルカラーである「オレンジ色に染めよう！」というコンセプトで第1回オレンジプロジェクトがスタート。商店街の協力を得てポスターを掲示し、各店舗ではオリジナルランチョンマット500枚を使用し、啓発に取り組んだ。

(協力：株式会社協進印刷)

[主催] GLOBAL ☆ YEN ☆ LEAP

横浜市六角橋地域ケアプラザ

[後援] 六角橋商店街連合会



当企画が、神奈川区独自の「神奈川区みまもり協力店」  
制度に発展！（詳細はP7）

# 2017

### 六角橋自治連合会が主催団体に！ まち×学生が一丸となって認知症啓発に取り組む

[期間] 9月18日～9月21日《4日間》

[内容]

六角橋商店街と神奈川大学の2会場でランチョンマットによる啓発活動を実施、株式会社協進印刷で学生がインターンを行い地域用・学生用2種類のランチョンマット2000枚を完成させ配布した。

また、参加型の企画も取り入れ、六角橋商店街、神奈川大学、六角橋地域ケアプラザ3会場で計13企画(当事者支援・認知症予防・認知症啓発)を実施し、総合的な認知症支援事業に発展した。

[主催] 六角橋自治連合会

GLOBAL ☆ YEN ☆ LEAP

[共催] 六角橋商店街連合会

横浜市六角橋地域ケアプラザ





# 2018

## 神奈川大学学生ボランティア活動支援室が参画！ 後援団体も加わり9日間開催へ規模拡大

[期間] 9月1日～9月30日《9月月間》

[内容]

三菱UFJ銀行・GODAI白楽・パナソニックエイジフリーといった企業連携が本格的にスタート。2017年を上回る15企画を実施した。

また、神奈川大学や医師会・歯科医師会・薬剤師会の支援を受け、オレンジプロジェクトの一押し企画「～いつか役に立つ～高齢者の医療がわかるセミナー」の開催がスタート。企画動員人数は1000人を突破。

[主催] 六角橋自治連合会

GLOBAL ☆ YEN ☆ LEAP

[共催] 六角橋商店街連合会

横浜市六角橋地域ケアプラザ

神奈川大学学生ボランティア活動支援室

[後援] 神奈川区医師会・神奈川区歯科医師会・

神奈川区薬剤師会



NHK 厚生文化事業団主催第2回「認知症にやさしいまち大賞」の《特別賞》を受賞！（詳細はP7）

# 2019

## 近接地域隣接区との連携が始まる

[期間] 9月1日～9月30日《9月月間》

[内容]

2019年には、六角橋地区だけでなく隣接地区である片倉三枚地域ケアプラザや隣接区港北区の篠原地域ケアプラザ・城郷小机地域ケアプラザと連携により、より広域での事業展開が可能となった。特に2019年度オープニング企画では、神奈川区・港北区のキャラバンメイト“初”となる協働しての「認知症サポーター養成講座」を開催した。

[主催] 六角橋自治連合会

GLOBAL ☆ YEN ☆ LEAP

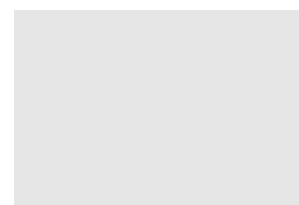
[共催] 六角橋商店街連合会

横浜市六角橋地域ケアプラザ

神奈川大学学生ボランティア活動支援室

[後援] 神奈川区医師会・神奈川区歯科医師会・

神奈川区薬剤師会



## ランチョンマットのあゆみ



2016 版



2017 商店街版



2017 大学版



2018 商店街版



2018 大学版

# そして、いつまでも住み続けたい街へ。

やさしい「思い」と熱い「志」をもった方々と出会うことができました。人生の宝と呼べる体験でした。学生さん達とかかわりを持つことで年長者の私は成長しました（笑）  
今後は、もっとたくさん人が関わって、大きく育ててほしいです。必ず地域を代表する活動になっていくと思います。

六角橋商店街連合会 石原会長

六角橋商店街が1つの土台となって「認知症」「高齢化」等、まちの課題をわかりやすく発信し、どこか曖昧だったまちの課題感をオレンジプロジェクトという一大イベントを通じて多くの人に身近に感じてもらうきっかけを与えてくれたと感じています。

六角橋自治連合会 森会長

様々な団体の関わりが詰まった当プロジェクトの醍醐味はまちづくりをしている感覚であると思います。子どもから学生、お年寄りまでまち全体で「お年寄りにやさしいまち」を目指して参画している広がり感が魅力です！

神奈川区社会福祉協議会 根本さん

こんな素敵なまちづくりが身近なところで行われていることに驚きました。  
今の学生さんが、おじいちゃん・おばあちゃんになってもこのまちに住んでいますように！

神奈川区薬剤師会 市川先生

参加当初は「知識の無い学生が認知症啓発なんて…」という気持ちがありました。が、実際にやってみると寸劇やスポンジテニスなど地域の方と交流しながら認知症について理解を深めていく内容になっており、学生が参加する意義を感じることができました。とても貴重な体験になっています。

神奈川大学 石井さん

学生生活だけでは出会えない方々と出会い、プロジェクトを実施できたことは貴重な経験になりました。また「認知症」についても企画に携わる事で関心を持つきっかけとなり、勉強できたことで「認知症を身近な課題と感ずる」ことができました。この活動を学生の中でも継続して行ってほしいです。

オレンジプロジェクト2016 学生代表 飯島くん



私はオレンジプロジェクトに参加した事で、様々な立場の方とコミュニケーションをとる大切さを知ることができました。私は人と話すことに苦手意識を持っていたのですがプロジェクトを通じてたくさんの方とお話を伺う中で、その人なりの想いに触れることができ、貴重な体験をさせて頂きました。オレンジプロジェクトが学生・地域等たくさんの方に知ってもらえるような企画になることは、いつか身近な問題としてかわかることになるであろう「認知症」についてや自分の健康について、実際に降りかかる前に知ってもらうことにつながっていると感じています。

オレンジプロジェクト2019 学生代表 狩野さん

プロジェクトを通じて、認知症当事者の方とお話できたことは、本当にいい経験だったと感じています。今でも忘れません！

神奈川大学 桜井さん

ケアプラザ、大学関係者、神大生、そして商店街・自治会、それぞれの皆さまが丸となって健康寿命の延伸に繋がった当プロジェクトの最大の成果だと感じています。

神奈川区歯科医師会 渡邊先生



プロジェクト名の通り、地域（まち）と学生、各関係機関が一体となって取組む姿が印象的で、これから目指すべき地域の形の1つではないかと思いました。

横浜市篠原地域ケアプラザ 庄司さん

バリアフリーについてもっと調べたい！地域のおじいちゃんおばあちゃんに意識が向くきっかけとなりました。地域とのつながりを感じることができました。

神橋小学校 佐藤先生

認知症啓発活動に始まり、回を重ねる中で中味も充実した内容に発展し、学会などでも発表する等、意識レベルの高い取組み方に敬意を表します。

ケアプラザ設置協力者 山室さん



地区特性を生かし、地域全体が社会的課題である「認知症」をメインテーマにして六角橋をオレンジ色に染める素晴らしい企画に参加し、盛り上がりを感じることができました。私は、セミナーの冒頭挨拶をさせて頂きましたが現場で起きている課題について熱意のあるお話をお聴きし、新たな気づきがあったと感じています。ありがとうございました。

神奈川区 高田区長

地域の方々と協力して行うこのプロジェクトを通じて、六角橋地域の人々の優しさに触れ、《六角橋が大好きになりました!!》  
また、学生代表として活躍する中で、人に頼ることの大切さと難しさを実感する機会も多く、社会人への一歩として勉強させて頂きました。

オレンジプロジェクト 2018 学生代表 樋口さん

子ども達が描いた絵を六角橋商店街に飾っていただきました。子ども達もとても喜んでおり、人とのつながり、地域とのつながりを感じる機会でした。これからも、地域や人がつながるプロジェクトが広がりますように!

齋藤小学校 出村先生

学生にとってはあまり身近ではない「認知症」というテーマだったが、同世代の学生が発信することで、若者も関心を持ちやすいと気づかされました。まちと若者が一緒に発信している点がすごく良いと思います。

神奈川大学 小倉さん

六角橋は地域のコミュニケーションが豊かな街、人と顔が見える街です。また古くからたくさんのお学生さんが住む町でもあり、若い笑顔とパワーを呼び込んでくれています。オレンジプロジェクトでは地域と学生が一つとなって力強く、暖かい空気を感じることができました。

MYクリニック神戸院 神戸先生

神奈川区役所高齢・障害支援課高齢者支援担当 新井さん

初めは右も左もわからない事が多く、このままやって行けるのかと不安になりました。しかし、実際に活動を進める中で新しい人との出会いや知識が増えていく実感があり、私が誰かの力になる存在になれるんだと自信ができました。大変でしたが、今思い返すととてもいい経験をしたと思います。

オレンジプロジェクト 2017 学生代表 池田くん

六角橋商店街は元々年配のお客様も多く、店主とも昔からの顔なじみ…。オレンジプロジェクトに参加して「みまもり協力店」になった事でお手伝いや声かけをしやすくなりました。

六角橋商店街 あけ×たて 稲見さん



神奈川区薬剤師会 北川先生

神奈川大学の学生さんの活気ある力を肌で感じ、素晴らしい活動をしていると深く感銘を受けました。若い世代を巻き込んだ当プロジェクトは六角橋地域に住んで良かったと思える街づくりにつながると確信しました。

オレンジプロジェクトの開催と共に、商店街並びに店主、または店員たちの意識が変化したのではないかと感じます。

六角橋商店街 五木園 中門さん

学生の皆さまと今まであまり関わる機会がなかったので地域の皆さんの意見が新鮮でした。地域の皆さんの町に対する熱い思いも伝わってきました。皆さまのフレッシュなアイデアでプロジェクトをますます盛り上げて行ってください。

横浜市片倉三枚地域ケアプラザ 安次嶺さん・庄司さん

学生さんや役所の方、福祉関係職の皆さまと垣根を越えて取組めたことが印象深いです。1つの社会問題に皆で考える、たくさんの方ができることで関わっていく事が大切だなと再認識できました。

パナソニックエイジフリー株式会社 太田さん

行政とは違い、自由な発想でテンポよく形にしていけるパワーが羨ましく眩しかったです。“オール神奈川”で認知症になってもだれもが安心して暮らすために共に協力しながら取組んでいきましょう。

神奈川区歯科医師会 池田先生

講演に登壇するにあたり、知識を整理させて頂きました。露出する部分には何倍もの時間がかかると改めて感じました。プロジェクトの運営も同じだと思えます。準備をして下さった皆様、ありがとうございました。

参加した地域の方の楽しそうな表情、運営する学生の皆さまのイキイキとした姿、どちらもとても印象に残っています。皆さんが笑顔でつながる素敵な取組みに発足当初から関わらせて頂き嬉しく思います。

神奈川区役所福祉保健課事業企画担当 中山さん

# オレンジプロジェクトが、 「NHK 厚生文化事業団 第2回 認知症にやさしいまち大賞」 ニューウェーブ賞（特別賞）を受賞！

[受賞理由（主催者ホームページより）]

大学生が地域の中で当事者とともに

オレンジプロジェクト～お年寄りにやさしい街六角橋～（神奈川・横浜市）

地元住民と大学生（神奈川大学）が協働してまちづくりを行う「オレンジプロジェクト」は、平成28年から毎年9月の「敬老の日」から「世界アルツハイマーデー」（9/21）までの期間に、認知症にやさしいまちをテーマに様々な活動を実施している。「認知症サポーター養成講座」「講演会」「認知症VR体験」「動画上映会」「当事者の商店」「スポンジテニス」など、当事者の活躍の幅を広げるバラエティーに富むイベントには大学生のフレッシュな発想と行動力が随所にうかがえる。今後、若者やより広い年齢層が当事者と共に町づくりを広げていく期待を込めて。

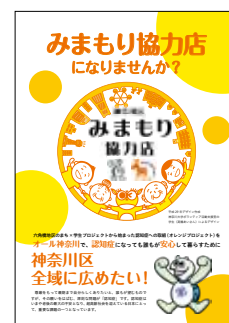


2018年12月11日（火） 東京・千代田区 有楽町朝日ホールでの表彰式

## オレンジプロジェクトから、 神奈川区独自の「みまもり協力店」制度が誕生！ 六角橋商店街がみまもり商店街第1号に！

「みまもり協力店」とは

認知症に対する正しい知識と、具体的な対応を学ぶ「認知症サポーター養成講座（厚生労働省認定）」を受講した人が1名以上いるお店・事業所を神奈川区が認定する制度。「みまもり協力店」は専用ステッカーを貼り、認知症に対して適切な対応ができる店であることを周知することができます。また神奈川区のホームページにも「みまもり協力店」として掲載されています。



### まち×学生 オレンジプロジェクト事業報告書

2020年3月31日発行

発行：まち×学生 オレンジプロジェクト実行委員会

問合せ：横浜市六角橋地域ケアプラザ

☎ 045-413-3281

編集協力：株式会社協進印刷